

上尾市水道事業では、来たる大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

漏水修繕訓練（木栓による止水）を実施しました

令和5年5月25日（木）におきまして、**木栓（※）**を使用した漏水修繕訓練を実施いたしました。

（計3回実施）

具体的には、漏水している水道管に木栓を直接打ち込み、応急的に止水する作業となります。災害や事故時など、急を要する場合に有効な手段となります。

（※）本訓練にて使用した木栓とは、幅が4cm四方、長さ50cm程度の角材先端を、直径1.3～2cmに加工した漏水修繕用の木材のことを言います。「実動班」では、木栓の加工段階から訓練を行っております。

使用
材料



上尾市上下水道部庁舎敷地内にて全体説明後に製作開始（作業の注意点を解説）。



富山市長も参加しました

令和5年5月25日（木）に開催された上下水道事業審議会に出席していた富山市長が実動班講習会に参加しました。

富山市長は講師の指導のもと、止水箇所の養生作業を体験しました。



番線巻き



(※) わずか直径2cm程度の漏水ですが、写真のように吹き上がり、水量も膨大です。





※木栓打ち込みの際は、上下水道事業審議会に出席された委員の皆様にも視察していただきました。

令和5年4月20日（木）に、「管洗浄」の方法についてシミュレーションを行いました。
14名が4班に分かれ、グループディスカッションにて管洗浄方法を検討し、発表を行いました。

グループディス
カッション

14



15



16

令和5年5月18日（木）には、管洗浄（実技）訓練を行いました。交差点内での漏水を想定し、指揮者の指示に従い、仕切弁操作4名、交通誘導員4名が訓練を実施しました。



洗浄弁操作による流量調整



交通誘導の動作確認



水質確認

19

※繰り返し訓練を行うことで、技術の定着、向上を図ります。

次回は令和5年6月、7月の活動内容を掲載する予定です